



## 北通り種苗育成センター広報

### 2023年度産アワビ種苗出荷状況

2023年6月に種苗センターで生まれた稚貝アワビは、2024年10月に出荷されました。出荷した月日と個数等は次の通りです。

	平均殻長	出荷先	出荷個数	合計
第1回	38.0mm	大間漁協	35,000個	5万個
		奥戸漁協	15,000個	
第1回	27.7mm	大間漁協	70,000個	10万個
		奥戸漁協	30,000個	
第2回	46.5mm	大間漁協	34,300個	4.9万個個
		奥戸漁協	14,700個	
第2回	38.8mm 27.2mm	大間漁協	72,100個	10.3万個
		奥戸漁協	30,900個	
合計	33.0mm	大間漁協	211,400個	30.2万個
		奥戸漁協	90,600個	

年間の目標は平均殻長30mm以上を30万個生産です。2023年度産は平均殻長が33.0mmで総出荷個数が30.2万個となり目標を達成することが出来ました。

2024年度も昨年度同様に高水温期にアワビの斃死が発生しました。数が足りなくなったため通常行わない秋採卵を行って調整しました。その個体も25mm以上で出荷することが出来て、何とか出荷目標個数を11年連続で達成することが出来ました。

### 2024年度産アワビ飼育状況

現在の飼育個数は約31.5万個で、目標生産個数は30万個を上回っていますが、去年と同様ぎりぎりで厳しい状態です。2024年度産も秋採卵群がいて小さい個体もありますが、丁寧に飼育して少しでも大きく少しでも数が残るように飼育しています。

エゾアワビは水温が25℃を超えると餌を食べる量と消化のバランスが崩れてしまい、消化が間に合わず死ぬ個体が出始めます。27℃を超えると多くの個体に影響が出ます。これらに注意して飼育している状態です。

### 2023年度産ナマコ出荷状況

出荷時期	出荷先	生産地	平均体長	出荷個数	合計
3月 4月	大間漁協	大間産	10mm～100mm	26,600個	31,600個
		三方産（上の国）	30mm	5,000個	
3月 4月	奥戸漁協	大間産	10mm～100mm	11,400個	16,400個
		三方産（上の国）	25mm	5,000個	
合計		大間産	10mm～100mm	38,000個	48,000個
		三方産（上の国）	30mm	10,000個	

大間産(種苗センター)は、親となるナマコから卵を産ませて育てた子供たちです。大間産の出荷時の大きさは1cm～10cmで、数は38,000個でした。三方産(上ノ国町)の大きさは平均体長3.5cmで、数は10,000個でした。合わせて48,000個を大間漁協と奥戸漁協に出荷しました。

2024年度は昨年度と同様に水槽を多く使用する方法で飼育しました。水槽の扱いや飼育器の使用方法を試行錯誤しつつ試験生産しています。とりあえずは昨年度より少し多く生産することが出来ました。来年度はさらに生産向上できるように努めたいと思います。